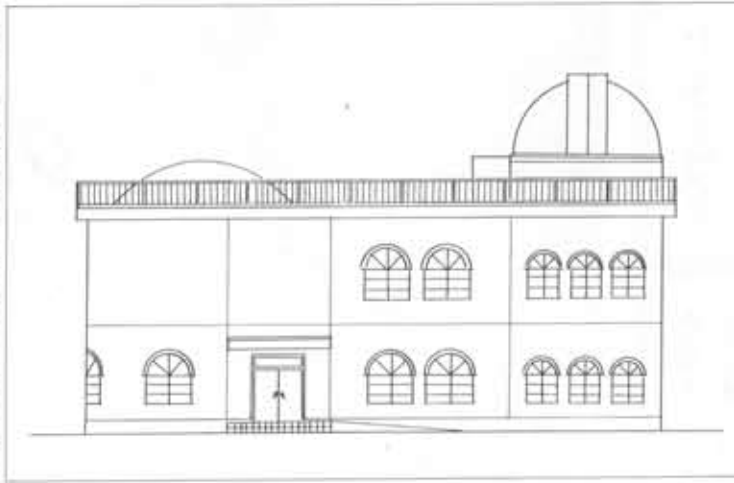


# 未来を創る夢とロマン

## スターウォッチング 星空の街

### 創造事業 アストロパーク

アストロパーク整備基本計画は、昨年の「ふるさと創生アイデア募集」で最優秀作の一つに選ばれた「星空観測所の設置」を基に、この計画は、昭和63年1月に環境庁から決定された「スターウォッチング星空空間観測所の設置」を基に、



星空観測所構想図

さらに具体化するものといえます。この計画は、昭和63年1月に環境庁から決定された「スターウォッチング星空空間観測所の設置」を基に、

アストロパークは、星空観測所としての天文台とこれを中心とした市民の憩いのスペースとで構成されています。これらの施設は、星空を眺めるだけの単なる天文台ではなく、天文科学的な要素を持った宇宙科学について学習できる文教施設として、青少年だけでなく、市民が気軽に利用できるもので、子供からハイレベルのアマチュア天文家までが十分に活用できる施設を計画しています。

### シリーズ 向日市の国保② 国保のしくみ

向日市の国保は、ここ数年、収支の均衡がとれず、対策に苦慮している状況にあります。

審査し、市町村に通知します。市町村は、通知を受けた医療費を国保連合会を通じて各医療機関に支払いますが、その時期は、いったん全額を支払った後、一部負担金を除

国保豆知識  
交通事故などでケガや病気をし、治療を受けた場合は、国保が一時立て代わりで保険料を支払う。あとで国保に加入し、保険料を納め、保険金を受け取ります。

### 21世紀への福祉プラン 向日市高齢者福祉基本計画

向日市福祉問題審議会(会長 嶋田啓一郎同志社大学名誉教授)に諮問し、昨年3月答申を受けた「向日市高齢者福祉施策のあり方について」に基づいて策定したものです。

高齢者が積極的に社会参加ができ、生きがいをもつ生活を営むこと、安心とゆとりをもって生活を過ごせるまちづくりを進めていくための施策を掲げています。

「在宅福祉、保健の推進」は、福祉、保健、医療のネットワークの推進、在宅福祉サービスの充実、地域福祉活動の促進などが必要であるとしています。



リハビリ教室で機能回復訓練に励む

「健康づくり」は、健康づくりの推進、保健予防の充実、生涯スポーツの普及をあげています。

「巡回無料法律相談」  
6月28日(木) 午後1時～3時  
市役所市民相談室  
京都弁護士会所属の弁護士が相談に応じます。

### 水の季節に備える!

救急処置法講習会

◎対象  
市内の事業所・学校・町内会等

◎申込み・お問い合わせ  
向日市消防署救急係  
TEL. 934-0119(代)

### 中央公民館 情報セミナー

情報活用能力育成講座

| 回 | 日程       | テーマ                             | 講師                      |
|---|----------|---------------------------------|-------------------------|
| 1 | 7月20日(金) | 21世紀 高度情報化社会はこうなる(総論)           | 京都産業大学 教授 宮野 高明氏        |
| 2 | 7月27日(金) | 選んで生かそう情報社会                     | 情報技術コンサルタント 橋本 尚氏       |
| 3 | 8月3日(金)  | 花開く映像情報の社会                      | 関西ニューメディア研究会 佐野 匡男氏     |
| 4 | 8月24日(金) | 学んで見ようOA講座                      | 府立乙訓高等学校 教諭 等           |
| 5 | 25日(土)   | パソコン基礎編(実習)                     |                         |
| 6 | 9月2日(日)  | ハイビジョンと衛星放送(社会見学)               | NHK 大阪放送局               |
| 7 | 9月21日(日) | 情報通信革命はもう始まっている                 | NTT関西支社 150N推進部長 野口 典彦氏 |
| 8 | 9月28日(日) | ハイテク社会の罪と罰                      | 関西ニューメディア研究会 佐野 匡男氏     |
| 9 | 10月5日(日) | シンポジウム 考えて見よう高度情報化社会 意見交流会(まとめ) | コーディネーターとパネラーは、6回の講座の講師 |

情報セミナー日程表

※救命率  
水におぼれたときは、救急車が来るまでの間、何も処置をしないと救命のチャンスを失ってしまいます。

右の図は、呼吸または心臓が停止してから何分後に救急処置法を実施するとどのくらい救命されるかを表したものです。

呼吸(心)停止からの経過時分